

緑の募金30周年記念シンポジウム  
2026年3月13日

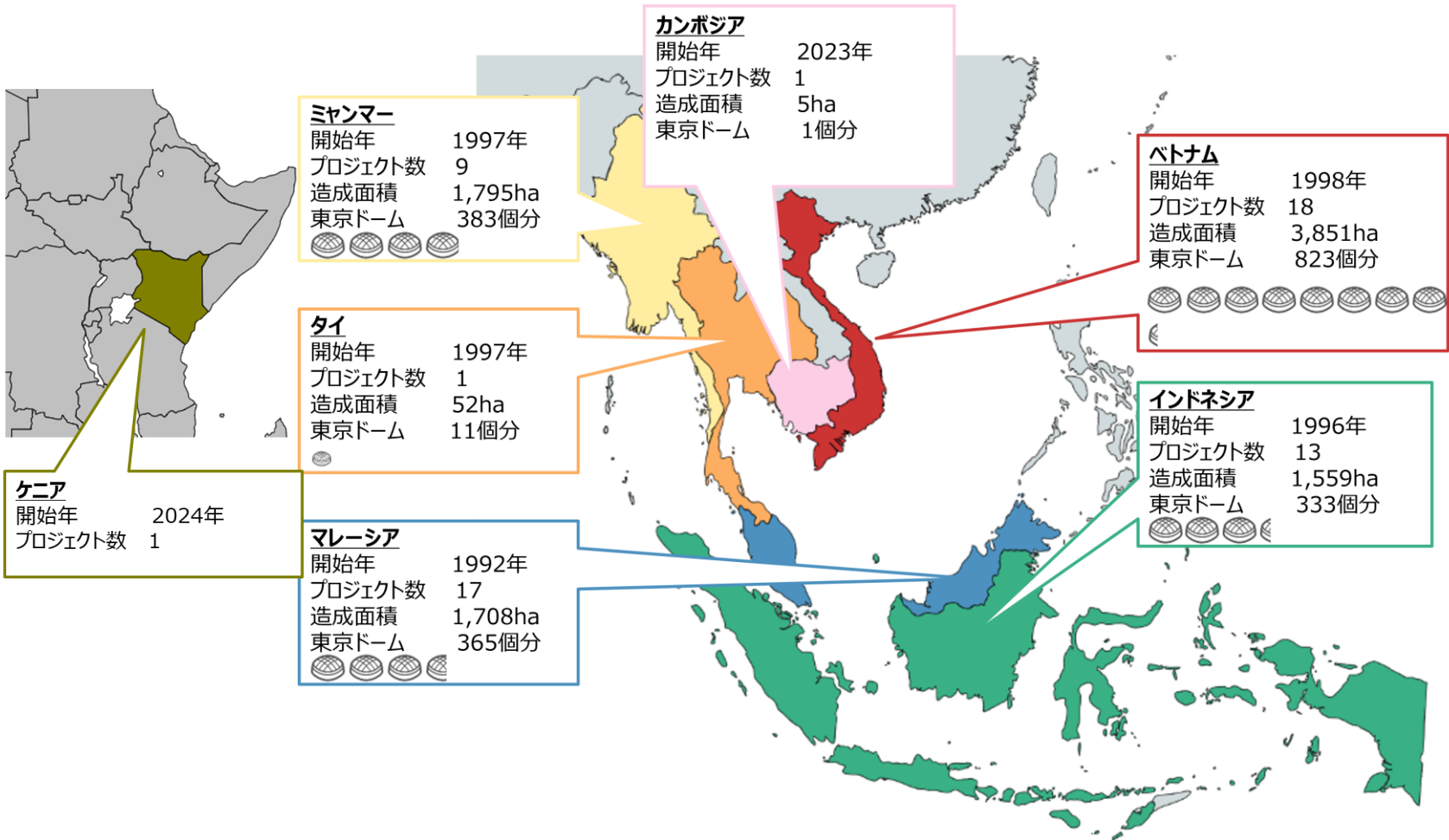
# みどりの地球づくりのための活動

国際緑化推進センター（JIFPRO）



# JIFPROの森づくり：熱帯林造成基金による植林

- 基金創設：1992年～
- 植林規模：7か国／累計約9,000ha



## ご寄付者

- ベターリビング
- 日本森林林業振興会
- トヨタ紡織
- ユーピーアール
- サンゲツ
- 東京木工所
- 和漢薬研究所
- KDDI
- ジャパンガスエナジー
- ヤクルト
- その他多数の企業
- 個人からの寄付

# プロジェクトのご紹介

3

## インドネシア

森林生態系の回復と地域社会の生計向上のための森林

・土地再生事業

委託者	(一財) 日本森林林業振興会
期間	2023年～2028年
対象地	インドネシア・西ジャワ州
面積	120ha
植林目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国立公園内の森林回復</li> <li>✓ 地域住民の生計向上</li> </ul>



## ベトナム

環境保護と飛砂防止のための植林プロジェクト

寄付者	トヨタ紡織株式会社
期間	2019年～2026年
対象地	ベトナム・フエ省
面積	35ha
植林目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飛砂防止・土壌保全などF-DRR</li> <li>✓ 地域住民の生計向上</li> </ul>



# プロジェクトのご紹介

## ベトナム

緑の地球の森 ベターリビング グル&グリーンプロジェクト

寄付者	ベターリビング
期間	2006年～2016年
対象地	ベトナム・タイグエン省、フエ省 等
面積	480ha、860ha
植林目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 植林による飛砂防止</li> <li>✓ 住民の生活向上</li> </ul>



2010撮影



2023撮影

## カンボジア

プノン・クーレン国立公園における森林再生プロジェクト

寄付者	ベターリビング、KDDI、UPR
期間	2023年～2032年
対象地	カンボジア・シエムリアップ
面積	35ha
植林目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ アンコールワット遺跡群に通じる流域の管理</li> <li>✓ 生物多様性保全</li> </ul>



# プロジェクトのご紹介

5

## ミャンマー コミュニティフォレストプロジェクト

寄付者	UPR、和漢薬研究所、東京木工所など
期間	2005年～2008年／2008年～2013年 2017年～2021年／2022年～2023年
対象地	ミャンマー・マンダレー管区
面積	合計面積1,795ha
植林目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国立公園内の森林回復</li> <li>✓ 地域住民の生計向上</li> </ul>

大臣による植樹地視察（中央）  
2019年12月撮影



2020年3月撮影



2023年5月撮影



6

## 乾燥地×森づくり 成果の見える化への 挑戦

- ✓ ケニア
- ✓ 半乾燥地
- ✓ 小規模農家向け植林
- ✓ 住民によるモニタリング

# ケニアでの寄付植林のサイトと目的

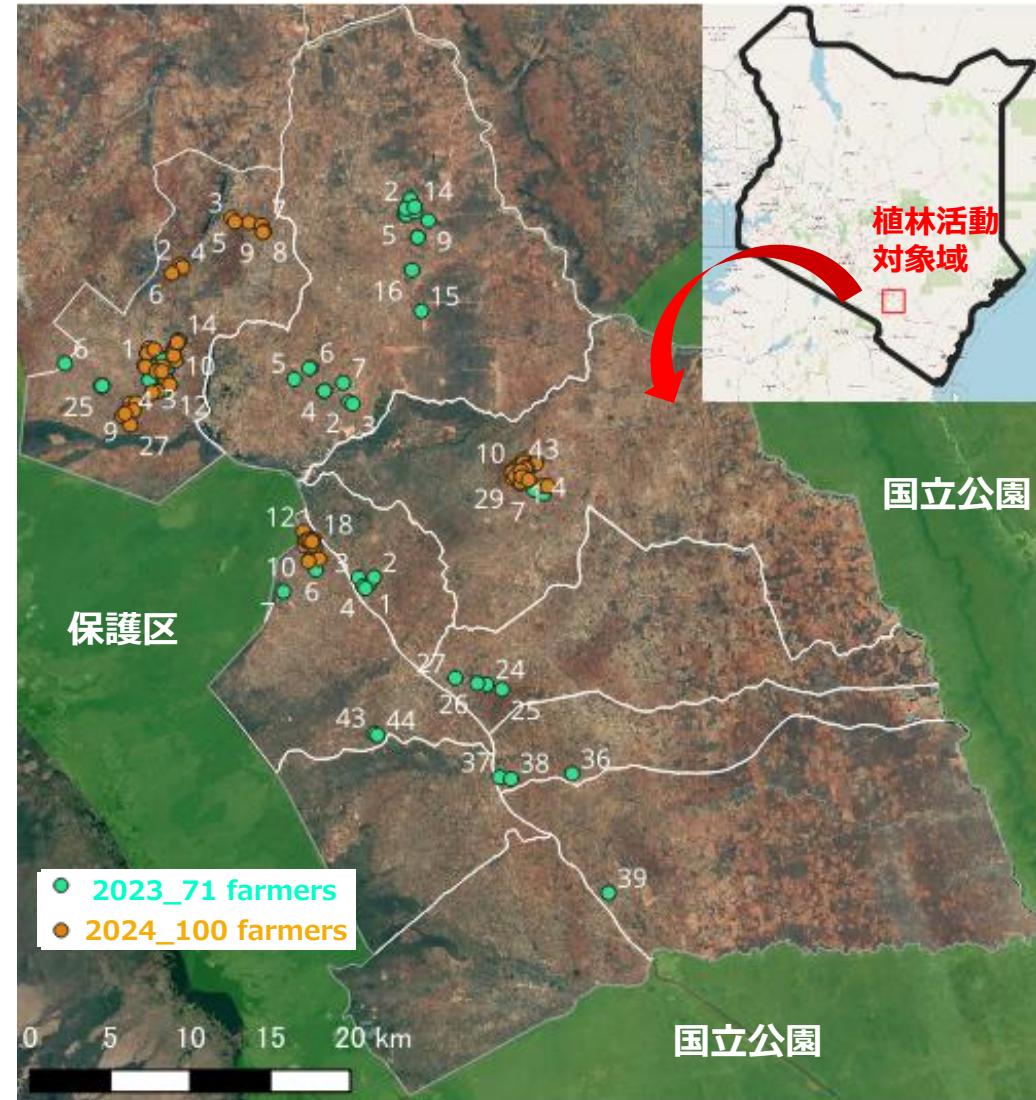
7

## □ 植林サイト

- ケニア南部のKibwezi行政区
- **90%近くが小規模農家の所有地（畑、放牧地）**
- 30~40年前は大きなアカシアの木が沢山あったよ  
うだが…
- 現在は、薪炭採取や過放牧により大木が消失

## □ 植林の内容・目的

- ✓ **半乾燥地**での植林
- ✓ 大規模にまとまった植林用地は確保できないので、**各農家の土地へ植林**
- ✓ **薪炭材採取などの利用圧を低減し、**生育を農家自身に管理してもらう必要



# 乾燥地での植林促進のための技術開発 「長根苗」

8

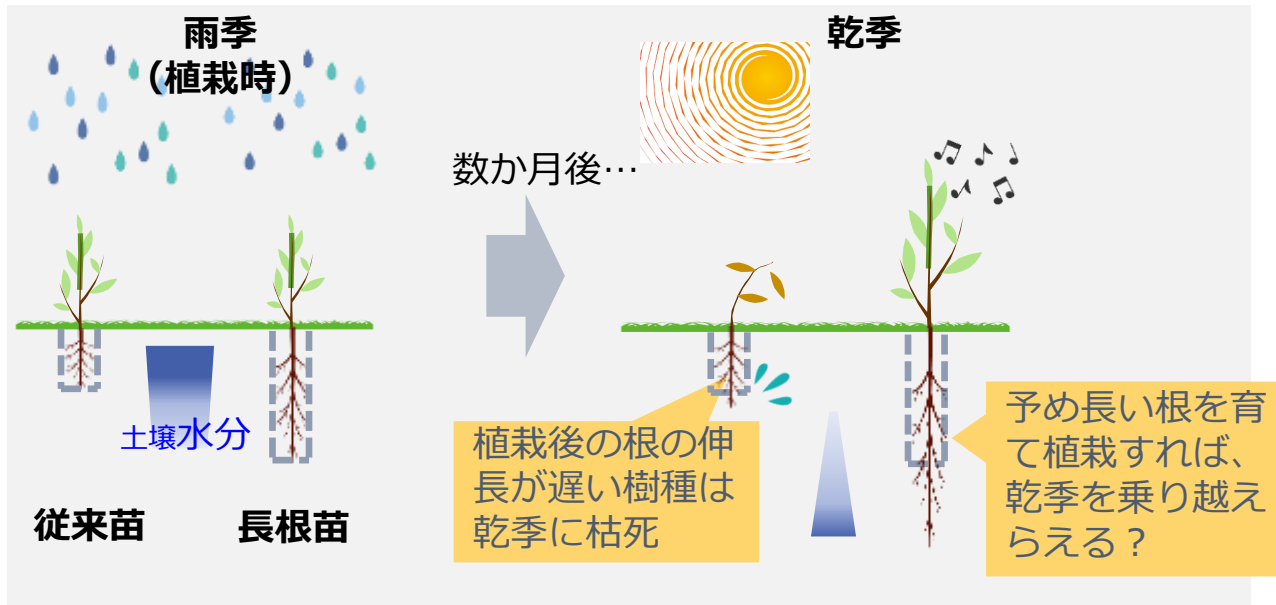
□ 乾燥地で植林が進まない、植林支援が進まない原因は？

- 植林コストが高い（灌水等）
- 活着率悪い、成長遅い（活着率が**50%前後** (Magaju et al. (2020) )
- 植栽が雨季初めに限定 + 降水不安定

林野庁補助事業「途上国森林再生技術普及事業」の成果

□ JIFPROは乾燥地での植林（支援）促進のため「長根苗」を開発

- 住民による長根苗育苗のための技術支援も実施



ケニア大統領による長根苗の植栽

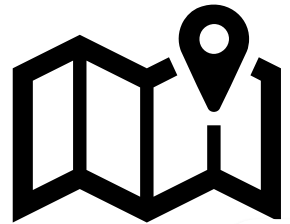


5か月育苗した長根苗

# ただ植えるだけでなく、住民参加型のモニタリングを実施

## 木は植えただけでは勝手に育たない⇒植えた後のモニタリングと管理がとても重要

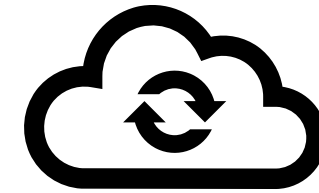
- 植栽時に**全植林木の正確な位置情報**を記録
- 農家が**自分のスマホアプリ**で植林木の位置を確認⇒1本ずつ成長を入力



植栽時に記録した位置情報を各自のスマホに表示



出所：Google



スマホアプリで植林木1本1本の生死を入力



クラウド上で共有・日本で確認可能

林野庁補助事業「途上国森林づくり活動貢献可視化事業」の成果

# 挑戦：寄付×炭素クレジットによる持続的活動へ

林野庁補助事業「途上国森林再生促進事業」で実証試験

## □ 寄付者

- 植林の成果をCO2吸収量として視える化したい
- モニタリングや管理の費用まで負担するのは難しい…

## □ 農家

- 植林木を管理するインセンティブがない…

炭素クレジットPJにすることで



炭素クレジット収益で自律的・持続的な植林活動にできる？

